

# 京都外国語大学ピカ☆イチPROJECT採択団体 ヴィンクロ・ジ・ラチーノ主催 第7回シンポジウム 移民の子どもと格差社会

プログラム

第一部

基調講演

「すべての子どもが活躍できる社会を目指して  
～多様性が豊かさに～」  
坂本久海子（NPO法人愛伝舎理事長）

発表

「マイノリティと教育ーアメリカのラチーノの事例」  
新藤祐樹（ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）

「義務教育後の進路ー三重県立飯野高校の事例」  
今榮拓也（ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）

「共生と文化保持」

市川千紗（ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）  
川田航大（ヴィンクロ・ジ・ラチーノ）

第二部

パネルディスカッション「移民の子どもと格差社会」

日時  
2020年1月27日(月) 13～15時(予定)

場所  
京都外国語大学452会議室  
(定員約120名) \*入場無料

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

協力: 京都ラテンアメリカ文化協会

後援: 京都外国語大学

京都外国語大学校友会

京都外国語専門学校

日本ラチーノ学院

日本学生海外移住連盟OB会

西日本支部

お問い合わせ

ヴィンクロ・ジ・ラチーノ代表 今榮拓也

E-mail: vinclodelatino@gmail.com

団体の詳しい情報は右のQRコードよりFacebook  
ページへ



坂本久海子 プロフィール

1993-98年 家族でブラジルに滞在。  
帰国後2002年より、鈴鹿市の小学校の国際教室で、外国籍の子どもの教育に携わる。2005年に、NPO法人 愛伝舎を設立し活動を始め、日本語教室、生活適応セミナー、外国人人材介護研修などに取り組む。2013年～「夢の懸け橋」奨学金事業を実施。三重県内の外国に繋がる高校生の進学支援。

三井物産(株)支援の「カエルプロジェクト」の三重県実施団体として2009年より活動。

令和元年7月10日、東海3県の団体と共に「外国人支援・多文化共生ネット」を設立し、代表に就任。今後更に増加する外国人との共生社会づくりを目指して、名古屋出入国在留管理局と意見交換を重ね、国への提案をしている。

